【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【公開番号】特開2015-10687(P2015-10687A)
【公開日】平成27年1月19日(2015.1.19)
【年通号数】公開・登録公報2015-004
【出願番号】特願2013-138198(P2013-138198)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　1/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　1/04　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　1/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　1/06　Ｓ
Ｆ１６Ｄ　1/04
Ｆ１６Ｄ　1/08

【手続補正書】
【提出日】平成28年6月23日(2016.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
軸部２９は、スリーブ部２８に対して同軸状に挿入されている。軸部２９は、スプライン嵌合などによって連結されているため、周方向Ｃにスリーブ部２８と一体回転可能であり、またスリーブ部２８に対して軸方向Ｘに相対移動可能である。通常状態では、軸部２９の一端部２９Ａは、スリーブ部２８の一端部２８Ａから軸方向Ｘに外れて（図２では左側へ外れて）配置されている。軸部２９の他端部２９Ｂ（図２では左端部）は、自在継手４（図１参照）と連結されている。また、軸部２９は、後述する２次衝突などの強い衝撃を受けることで、軸方向Ｘに移動可能である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
図４は、図２におけるIV－IV線に沿う伝達シャフト５の断面図の一部を示したものである。ここで、図４における紙面に対して直交する方向は、図２における軸方向Ｘと一致している。また、図４の左右方向は、図２における紙面に対して直交する方向（左右方向Ｙ）と一致している。また、図４の上下方向は、図２における上下方向Ｚと一致している。
以下では、図１～図３に加えて図４も参照して説明する。